

## 変わる！ 兵庫医科大学病院

# 新病院棟の建設を進めています

2026年  
開院予定

兵庫医科大学病院は、施設の老朽化による診療機能の低下への対応のほか、将来の先端医療に対する拡張性や臨床教育の充実の確保などを目的に、新病院棟の建設計画を進めています。建設予定地である9号館・旧立体駐車場の解体工事はほぼ終わり、2023年以降、いよいよ新病院棟の建設工事を開始する予定です。ご来院の皆さまには、ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどお願いいたします。



### 新病院棟誕生によってめざすこと

## Human Centered Hospital

### 「ひと」が主役の未来型スマート病院へ

上記キャッチフレーズをかかげ、6つの基本方針を軸に、新病院棟の誕生をめざしています。

特定機能病院としての  
高度先進的かつ安全な  
医療の強化

大学病院としての  
医療人育成と  
臨床研究機能の充実

災害拠点病院としての  
救急・災害医療機能の確保

地域中核病院としての  
病診・病病連携の  
さらなる推進

患者・家族にやさしく  
地域住民に親しまれる  
環境の整備

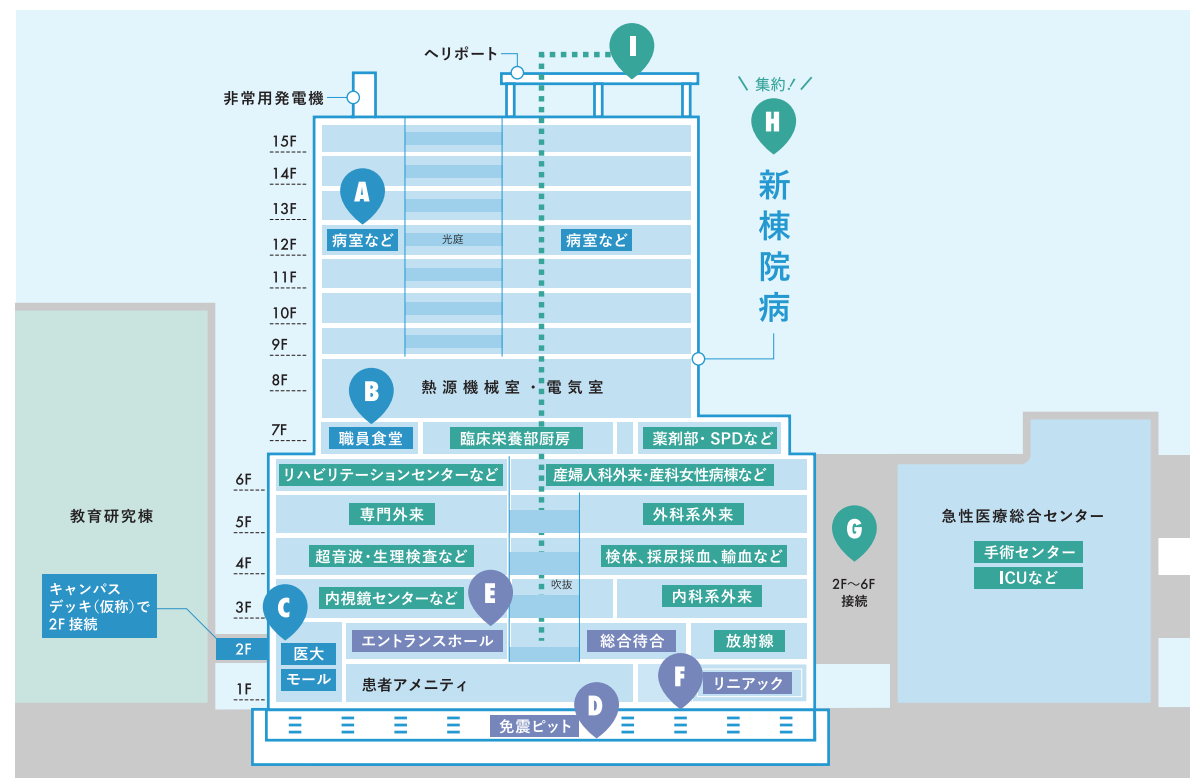
教職員が働きやすく  
能力を発揮できる  
職場環境の構築



### 新病院棟の特長

病棟や外来を集約し、隣接する急性医療総合センターと同じ階高で接続することで、特定機能病院としてより高度な医療の提供に努めます。また、災害拠点病院として、原則2階以上に診療機能を配置し、救急・災害医療機能を確保します。そのほか、コンビニ・レストランなどを集約した「医大モール（仮称）」を設置し、地域に開かれた病院をめざします。

- 建物規模：地下なし・地上15階、塔屋階（ヘリポート設置）
- 構造種別：鉄骨造、一部リニアック廻り鉄筋コンクリート造
- 建物高さ：約73m
- 建築面積：約5,550㎡
- 延べ面積：約71,000㎡
- 病床数：842床（新病院棟）／全体963床（予定）
- 主要部門：医事・患者支援、放射線治療、解剖・剖検、放射線診断、外来、内視鏡センター、生理検査、検体検査、輸血検査、がんセンター、血液浄化センター、アイセンター、リハビリ、臨床研究支援センター、供給（SPD、栄養、薬剤）、病棟



#### 教育・研究・働き方をさらに充実

- A** 病棟にスタッフルームや学生スペースを設け、多職種連携を推進するとともに教育機能を充実
- B** 職員食堂を武庫川が望める眺めのいい7階東側に配置
- C** 近隣住民の方も利用しやすい【医大モール（仮称）】を配置

#### 災害発生時も、地域を守り抜く

- D** 地震被害を最小限にとどめる免震構造
- E** 河川が氾濫しても機能を維持できるように、診療機能や各玄関フロアを原則2階レベル以上に設置
- F** 1階に配置する放射線治療部の治療室には止水対策を行い、重要な医療機器を守る

#### より高度な医療を、より安全に

- G** 急性医療総合センターと新病院棟の階高を合わせ、移動をシームレスに
- H** 分散する病棟、外来、中央診療施設などを新病院棟に集約
- I** 屋上ヘリポートに直結する救急エレベーターを設置

こちらをご覧ください 病院紹介 新病院棟 <https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/about/new-building/>